

年

組

番  
名前

1 次の(1)から(25)の文の——部の漢字の正しい読みを、下の「」にひらがなで書きましょう。

- (1) 新緑の季節になる。
- (2) 筆者に取材する。
- (3) たばこのけむりは有害である。
- (4) 挙手して発言する。
- (5) さかあがりを試みる。
- (6) 良心がとがめるようなことはしない。
- (7) 本物とにせものを対照する。
- (8) 徒歩で通う。
- (9) おばあさんから民話を聞く。
- (10) 勇ましい気持ちになる。
- (11) スープに塩を加える。
- (12) 額に大つぶのあせをかく。
- (13) 夫妻をパーティに招く。
- (14) 馬が勢いよく走る。
- (15) それぞれの領土に色をつける。
- (16) 親から独立してくらす。
- (17) たくさんの仲間を率いる。
- (18) バス停に人が居る。
- (19) 墓地のそうじをする。
- (20) 自分のしたことを評価する。
- (21) 罪をすなおに認める。
- (22) 朝早くから店を営業する。
- (23) 児童がボランティアをする。
- (24) 安定した状態を保つ。
- (25) かみを短くする。

2 次の(1)から(25)の文の——部のひらがなを漢字に直して、下の「」に書きましょう。

- (1) せいしゅんドラマをよく見る。
- (2) むぎわらぼうしをかぶる。
- (3) ふくびきのけいひんを当てる。
- (4) しょうばいがうまくいく。
- (5) 休みの日はかぞくですごす。
- (6) アリのけんきゅうをする。
- (7) みんなでしょくじをする。
- (8) オリンピックでぎんメダルをもらう。
- (9) マンションの二かいにすむ。
- (10) きよくにあわせて歌う。
- (11) 話のようてんをまとめる。
- (12) プリントをいんさつする。
- (13) 紙の束をわゴムでくくる。
- (14) カルシウムがふそくする。
- (15) 水のりようをくらべる。
- (16) ルールをせつめいする。
- (17) だんらくに気をつける。
- (18) もくてきをもって活動する。
- (19) かべにかざりをつける。
- (20) まわりのみんなをあいする。
- (21) カレーのざいりようをそろえる。
- (22) けわしい山道を歩く。
- (23) プレゼントをちよくせつわたす。
- (24) 高いひんしつの大豆でとうふを作る。
- (25) 外でもだちと元気に遊ぶ。